

平成25年度東京都・荒川区 学力調査に関する結果分析シート

学校名 荒川区立第三中学校

学力調査名	調査前に記入		実施結果	
区学力調査 全学年	成果指標(具体的な数値指標)		区 達成率	自校達成率
	4月実施	各学年とも荒川区の達成率を3ポイント上回る。	1年 国語61.3 数学70.6 英語64.7 社会55.6 理科60.1 2年 国語64.5 数学55.6 英語63.5 社会50.9 理科52.7 3年 国語63.1 数学55.9 英語57.4 社会44.9 理科43.3	1年 国語67.7 数学70.6 英語72.3 社会60.1 理科65.4 2年 国語74.5 数学58.7 英語64.4 社会47.7 理科51.8 3年 国語63.7 数学60.2 英語65.4 社会45.6 理科41.8
都学力調査 中学校2年 小学校5年	成果指標(具体的な数値指標)		都 正答率	自校正答率
	A 7月実施	東京都の正答率を上回る。 英語については都の正答率を3ポイント上回る。	国語68.3 社会55.3 数学52.7 理科50.4 英語 62.7	国語68.4 社会51.3 数学52.4 理科47.6 英語59.5
	B 7月実施	東京都の正答率を上回る。	国語71.6 社会34.1 数学31.5 理科47.0 英語36.5	国語69.1 社会31.1 数学32.0 理科50.0 英語40.2

平成25年度結果分析および具体的な方策

1 結果分析

- 荒川区学力調査では概ね良好である。
一部教科で達成率が荒川区を下回っているので、基礎基本を重視しつつも応用・活用に向けての演習を行っていく。
- 東京都学力調査では都正答率を上回ったものが4科と低くなっている。特に、A問題での正答率が下回っていることが課題である。基礎基本を徹底し学習への意識付けと意欲の向上を行っていく。
- 国語では長文の読み取りを苦手とする傾向が高いため、文を読み取る力を身に付け、読解力を高めることができるような指導や対策を行う。
- 数学では、四則演算や計算力が不足している生徒がいる。計算の基礎を身に付けさせる。また、生活に密着した事象を問題への誤答が多い。

2 各学年での取り組み

- 家庭学習の時間の確保や内容が十分ではない。そのため、家庭への働きかけを積極的に行い、家庭学習の充実に取り組んでいく。
- 「あらかわ寺子屋」による各種検定への取り組みを推奨する。このことにより、目標を明確にした各種検定の級の取得を目指した取り組みを行い、学習の意識付けと学習意欲の向上を図っていく。

3 全校体制での取り組み

- 基礎的な計算や漢字の読み書きなど基礎基本の学力に課題がある。朝学習の時間に漢字や計算を行い確認していく。また、計算コンテスト、スペリングコンテストなどにより目標を定めた取り組みを行っていく。
- 言語活動の充実を図るため、校内変論大会を目指した取り組みを行っていく。弁論の文章を作成し、読み、伝えるとともに、他者の弁論を聴き、理解し、批評する力を育成する。

4 方策

- 2小学校と連携した小中一貫教育実践研究により小学校と連携した学力向上に取り組む。
- 電子黒板、タブレット型PCの活用などICT機器の活用により、分かり易い授業の工夫を行い、授業への興味・関心・意欲を向上させる。
- 「あらかわ寺子屋」による各種検定(英語、数学、漢字等)を目指した取り組みを実施し、級の取得を目標を目指しての取り組みとさせる。
- 英語、数学での少人数習熟度別学習において、生徒の実態や程度に合わせた編成と指導を行う。
- 学校図書館活用実践モデル校として学校司書との協働授業を各教科で行い、学校図書館の学習センター化を図っていく。

※「行の高さ」は変更していただいて構いません。